

# 2013

## 夏のボランティア体験 活動報告書

～ ボランティア体験いつするか？ 今でしょ！ ～



### はじめに

新見市社会福祉協議会では、ボランティア活動に関心のある方に体験を通じて、お互いを思いやる気持ちや人の役に立つ喜びを感じられる「福祉の心」を育てることを目的に夏のボランティア体験事業（夏ボラ）を実施しています。

今年で18回目を迎えるこの事業は、募集にあたっては市内の中学校・高校に、活動にあたっては市内の福祉施設の方などに協力いただくなど、多くの関係者の協力を得て実施しています。

この度、一部ではありますが、夏ボラ参加者の活動の様子や感想などをまとめましたので、ぜひご覧ください。

社会福祉法人 **新見市社会福祉協議会**

# 夏のボランティア体験の進め方

## 1. 募集

- ・市内の中学校・高校を通じて参加者を募集します。

## 2. 事前研修会(兼 活動調整会議) Plan

- ・活動を行う上での心構えや注意事項の説明や、目標の設定などを行います。
- ・活動先施設担当者と面談し、活動日を決定します。

## 3. ボランティア体験 Do

- ・それぞれの活動先でボランティア体験を行います。(原則3日間以上)

## 4. 事後研修会 Check

- ・活動の振り返りや福祉に関する研修を行います。

がんばるぞ!!



### 事前研修会

事前研修会には参加者101名のうち、91名の方が参加しました。

事前研修会では、活動を行う上での注意事項や心がまえの確認、福祉施設で働く方のお話を受講したほか、それぞれ活動を行う上での目標を立てていただきました。

### 2013夏のボランティア体験 私の目標 (参加者の目標から抜粋)

- ◆誰とでも積極的にふれ合える心を持ちたい!..... ◆ふれ合うことの楽しさを学びたい!
- ◆初対面の人に対する表情や言葉づかいに気を付けて、自然に相手と心が通わせられるような人になりたい!
- ◆自分に自信を持ちたい!信頼してもらえるようになりたい!
- ◆少しでもみんなを笑顔にしたいので、自分自身も笑顔を忘れないようにしたい!
- ◆自分の気持ちを押し付けるのではなく、相手の気持ちを第一に考えて理解できるようになりたい!
- ◆今まで経験したことがないことを福祉を通して経験できるようにしたい!
- ◆人の役に立つ喜びをもっと知りたい!様々な人と関わり、社会のマナーを学びたい!



事前研修会の様子



受入施設担当者との面談

# 事後研修会

事後研修会には参加者101名のうち、80名の方が参加しました。

事後研修会では、活動を振り返り、自己採点や新たに気づいたことについて発表していただいたほか、新見市をよりよくしていくためには、どんなことに気をつけたらいいかをグループで話し合いました。

## 【研修1】活動の自己採点

参加者が各自自身の活動を100点満点で自己採点した結果は……76.5点でした。

(参加者101名の内、回答いただいた97名の平均点)

◆◇ 自己採点結果の内訳 ◇◆

50～54点	5人	65～69点	0人	80～84点	38人
55～59点	0人	70～74点	35人	85～89点	5人
60～64点	4人	75～79点	1人	90点～	9人

合計 97人

## 【研修2】100点になるために必要なこと

- ◆もう少し自分から積極的にちゃんと話せるようにする。
- ◆もう少し大きな声で話す。
- ◆子どもたちの様子をよく見て、ほめるべき所はほめ、しかるべきところはしかる。
- ◆一部だけでなく、全体に目を向け、気配りをする。
- ◆ただ任せられたことをするだけでなく、どうしたらよりよくできるかを考える。
- ◆子どもから元気をもらうだけでなく、自分が子どもに元気や笑顔をあげられるようにする。

## 【研修3】ボランティア活動を通じて、新たに気付いたことや学んだこと

- ◆人の役に立つことはいいことだと分かった。
- ◆優しさや思いやりの大切さを再確認できた。
- ◆相手の気持ちを言葉だけでなく、表情からも読み取ることも大切だと思った。
- ◆ボランティアをすることで、誰かの役に立てたり、誰かを笑顔にすることができると、自分自身も成長することができることに気付いた。
- ◆人と助け合うことが大切だと気付いた。
- ◆恐れてばかりでは何も始まらない。積極的に行動することで、自分のやるべきことがたくさん見つかった。
- ◆人のために何かできているということの充実感、「ありがとう」など、感謝の言葉を言われる嬉しさを学んだ。
- ◆一人ひとりの気持ちを考えることで、ケンカが減り、みんなが仲良く過ごせるということに気付いた。
- ◆ボランティアは特別なことではなく、みんなが社会で気持ちよく暮らすための手伝いだと分かった。
- ◆毎年1つ1つ学ぶことが増え、子どもたちとの接し方も変わり、学ぶことの楽しさを知った。
- ◆個性を理解することが大切だと分かった。

暑い中のボランティア体験  
お疲れさまでした。



## 【研修4】〇〇な新見市にするために・・・

新見市がどんなまちだったらみんなが住みやすいか、そしてそれを実現するために自分たちや周りの大人たちなどがどのようなことに気をつければいいかをテーマにグループごとに話し合いました。



1グループ	毎日が楽しく生活ができ、みんなよりよい関係が築けるような新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちをよく考える</li> <li>・いじめや差別をなくす</li> <li>・誰とでも仲良くなる</li> <li>・変なあだ名で呼ばないようにする</li> </ul>	
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや高齢者に親切にする</li> </ul>	
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って生活する</li> <li>・毎日が楽しくなるような行事を考える</li> <li>・地域のつながりをなくさない</li> <li>・助けあって生活する</li> </ul>	

2グループ	子どもから高齢者まで笑顔で明るい新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめたりしない</li> <li>・困っている人を見つけると助けあう</li> <li>・人を思いやりながら行動する</li> </ul>	
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を大切にし、差別などをなくす</li> <li>・子どもの様子を見守る</li> <li>・子どもができないところをフォローする</li> </ul>	
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でイベントなどをして、新見市を盛り上げる</li> <li>・近所同士で声をかけ合う</li> <li>・障がいがある人に便利な地域にする</li> </ul>	

3グループ	困っている人に声をかけられて、助け合いができるような新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達だけでなく、困っている人を見かけたら声をかける</li> <li>・自分の周りの困っている人を早く見つける</li> <li>・相手のことを考えて、声をかけたり、行動したりする</li> </ul>	
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電車の席をゆずる</li> <li>・一人で声をかけるのではなく、できるだけたくさんの人で声をかける</li> <li>・車いすの人がスロープのないところで困っていたら支援する</li> </ul>	
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体の不自由な方に声をかける</li> <li>・高齢者などに目を向ける</li> <li>・困っている人のために、色々な施設を増やしたり、車いすなどを増やす</li> </ul>	

4グループ	優しさ、思いやり、笑顔があふれる新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から積極的に声をかける</li> <li>・困っている人がいたら助ける</li> <li>・相手のことを考えて行動する</li> </ul>	
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人との交流</li> <li>・今何が必要なのかをよく考えて助け合う</li> <li>・協力し合って自分がすることを考えて行動する</li> </ul>	
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動を積極的に行う</li> <li>・地域の人たちが協力し、思いやりを持って、地域行事などに取り組む</li> <li>・相手が不快に思うようなことは言わない</li> </ul>	

5グループ	相手のことを思いやって、笑顔で元気な新見市にするために…
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道ですれ違った人でも、気軽にあいさつをする。</li> <li>・困っている人がいたら、自分から声をかけて助ける。</li> <li>・差別などをせず、みんなと平等に接する。</li> </ul>
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近所同士で、困っていたらお互いに助け合う。</li> <li>・誰もが助けたり、声をかけたりできるような環境を作る。</li> <li>・大人が子どもの手本になるようにする。</li> </ul>
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰かに責任を押しつけて、自分は何もしないということせず、自分から行動する。</li> <li>・周りのことを考えて行動する。</li> <li>・地域の人たちが安心して暮らせるような地域づくりをする。</li> </ul>

6グループ	マナーがいい新見市にするために…
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な方に進んであいさつをする。</li> <li>・自分一人だけでなく、周りの人のことを考えて行動する。</li> <li>・公共の場で騒ぐなど、周りの迷惑にならないように気をつける。</li> </ul>
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイ捨てをしない。</li> <li>・大人が交通ルールを守る。</li> <li>・知らない子どもなどでも、マナーが悪かったら注意する。</li> </ul>
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や社会全体で協力し合ってマナーを守る。(あいさつされたら返すなど。)</li> <li>・公共施設を利用する際に気をつける。</li> <li>・積極的に呼びかけを行う。</li> <li>・水や電気を使いすぎない。</li> </ul>

7グループ	明るくもっと働くところのあるような新見市にするために…
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の気持ちを考える。</li> <li>・相手のことを考えた言動を心がける。</li> <li>・あいさつを笑顔でしっかりする。</li> </ul>
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いい環境を作ること。</li> <li>・子どもに優しくする。</li> <li>・家族を大切にすること。</li> </ul>
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働く場所を増やす。</li> <li>・新見市をPRする。</li> <li>・景気をよくする。</li> </ul>

8グループ	やさしさで笑顔あふれる新見市にするために…
自分たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人へのあいさつ。</li> <li>・困っている人を見つけたら積極的に助ける。</li> </ul>
周りの大人たちが 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人もあいさつを心がけ、子どもたちにもあいさつの大切さを教える。</li> <li>・子どもたちの手本になるような行動をする。</li> </ul>
その他の人や地域・社会で 気をつけること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設を増やしたり、近所付き合いを深める。</li> <li>・町のことを考え、ボランティアなどを増やしていく。</li> </ul>



9グループ 毎日笑顔が絶えないような新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	・思いやりをもって、お互いを助け合う。 ・感謝の気持ちを忘れない。 ・自分たちから進んであいさつをし、笑顔を増やす。
周りの大人たちが 気をつけること	・交通マナーを守り、笑顔で安心して生活できるようにする。 ・子どもたちがげんきに過ぎないように、色々な支援をする。 ・ポイ捨てをしない、周りをよく見る。
その他の人や地域・社会で 気をつけること	・高齢者や幼児など、その人に合った環境作りをする。 ・地域の人々がふれあうことのできる機会をたくさん設ける。 ・あいさつ運動をする。

10グループ いつもみんなが笑顔でいられる新見市にするために・・・	
自分たちが 気をつけること	・困ったときはみんなが助け合う。 ・コミュニケーションを取る。
周りの大人たちが 気をつけること	・交通ルールを守る。 ・家族で過ごす時間を増やす。 ・ボランティア活動に積極的に取り組む。
その他の人や地域・社会で 気をつけること	・常に市民の意見を聞いて、よりよい町を作っていく。 ・誰もが気軽に利用できる施設を作る。

## 受入施設からのメッセージ

3. 日間と短い日数で大変だったと思いますが、入所者は普段来所された人と話をすることがないため、とても喜んでいました。また機会があればぜひ来てください。(なごみの郷かなや)

高齢者と話をするとき、何を話したらいいかわからないかと思いましたが、お手伝いをしながら関わることで、自然な笑顔やコミュニケーションができていました。自宅でおじいちゃん、おばあちゃんが一緒に住んでおられる方はしっかり関わってほしいと思います。(デイサービスセンター オレンジ)

ボランティア活動を通じて、色々な体験をされ、進路の参考にしてください。  
(哲多町介護老人保健施設 すずらん)

若いみなさんとの交流を、ご利用者の方々はとても楽しまれた様子で、普段は見られないようなステキな笑顔も見られました。来年もぜひ来てくださいね。待っています。(哲西荘デイサービスセンター)

お願いしたことを責任を持って取り組んでいただき、とても助かりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも機会があればチャレンジしてください。(NPO 風の音 スマイル)

明るく元気に参加していただき、利用者の子どもたちも保護者の方も喜んでくださっていました。ありがとうございました。(新見子育て広場)

暑い中、環境整備や保育を頑張ってくださいで大変助かりました。子どもたちもお兄ちゃんお姉ちゃんたちが来てくれて、とても嬉しそうでした。みなさんの頑張る姿に私たちも元気をいただきました。ありがとうございました。(新郷保育所)

そのほかにも、感謝のメッセージ、励ましのメッセージをたくさんいただきました。  
受入施設のみなさま、どうもありがとうございました。

# 資料集

## 活動状況およびアンケート結果など

### 2013 活動データ

参加者数	101名	(中学生 58名、高校生 22名)
延べ活動日数	310日	
協力施設数	30施設	
活動施設数	24施設	

### 夏ボラ参加回数

初めて	69名
2回目	23名
3回目	6名
4回目	3名

Q1. これからもボランティアに取り組みたいと思いますか？ (参加者 101名中、90名 回答)

積極的に取り組みたい	37名	41%
機会があれば取り組みたい	53名	59%
思わない	0名	0%

Q2. 今後も気にかけてたり、取り組んでみようと思ったことはありますか？ (参加者 101名中、90名 回答)

あいさつ	63名
福祉施設などでのボランティア	42名
困っている人に声をかける	38名
地区の行事などへの参加・協力	27名
その他※	4名
特になし	1名

※その他

- ・誰にでも自分から話しかける
- ・地域のつながりを大切にする。
- ・初対面の方とのコミュニケーション

Q3. 夏のボランティア体験 事後研修を通じて、福祉やボランティアに対する理解は深まりましたか？ (事後研修会参加者 80名中、73名 回答)

とても深まった	55名	75%
やや深まった	18名	25%
深まらなかった	0名	0%

ありがとうございました



## 協力施設一覧

- 特別養護老人ホーム 唐松荘 ●養護老人ホーム 和みの郷かなや ○ケアポート生き生き館 新見
- ケアポート生き生き館 菅生 ●介護老人保健施設 くらかみ ●特別養護老人ホーム おおさ苑
- デイサービスセンター オレンジ ●特別養護老人ホーム 哲西荘 ●哲西荘デイサービスセンター
- 哲多町介護老人保健施設 すずらん ●デイサービスセンター すずらん ●福祉ワークセンター阿新
- NPO 風の音 スマイル ○NPO ハートフルあしん共同作業所「つつじ憩の家」 ○大佐荘 ●神郷の園
- 岡山県健康の森学園 障害者支援施設 ●新見保育所 ●新見子育て広場 ●熊谷認定こども園
- 井倉保育園 ○にいみ子育てカレッジ交流広場“にこたん” ●大佐認定こども園 ●新郷保育所
- 神代認定こども園 ○本郷保育所 ○萬歳保育所 ●哲西認定こども園
- 新見市社協中央デイサービスセンター ●新見市社協神郷デイサービスセンター (順不同)

●活動のあった施設、○協力体制を取っていただいた施設

あ と が き  
編 集 後 記

暑い中のボランティア体験お疲れ様でした。

今年度は、事後研修会でグループ研修を行いました。他の学校の方も混ざってのグループ研修だったこともあり、みなさんととても緊張されていた様子でした。

それでも、それぞれ意見を出し合い、どのグループもとても大切なことを発表していただきました。

特に、将来の新見市を担う中高生のみなさんにも、今後もよりよい新見市にしていくためには、「地域での助け合い」や「近所づきあい」が大切だと認識していただいていることが分かり、地域での助けあい活動を推進する社会福祉協議会としては、とても心強く感じました。

社会福祉協議会では、夏ボラに参加したみなさんが、感じられた優しさや思いやりを「今」だけでなく、これからもずっと持ち続けていただけることを願っています。

参加いただいたみなさま、どうもありがとうございました。来年もお待ちしています。

**社会福祉法人 新見市社会福祉協議会**

〒718-0011 新見市新見122-5

電話 0867-72-7306

- 大佐支所 〒719-3503 新見市大佐小阪部 1482-1  
電話：0867-98-3119
- 神郷支所 〒719-3611 新見市神郷下神代 3946  
電話 0867-92-6677
- 哲多支所 〒718-0303 新見市哲多町本郷 246-4  
電話 0867-96-3111
- 哲西支所 〒719-3701 新見市哲西町矢田 3604  
電話 0867-94-3333